

山口市男女共同参画基本計画

山 口 市

はじめに

近年、少子高齢化の進行、情報化や国際化の急速な進展など社会経済情勢が急激に変化する中であって、家族形態の多様化、雇用環境や地域社会の変化など、私たちをとりまく状況は大きく変わり、人々の価値観やライフスタイルも、ますます多様化してきております。

こうした中であって、市民の皆様が心豊かに暮らし続けることができるまちをつくるためには、男女の別なくすべての人の人権が尊重され、一人の人間として個性と能力が発揮でき、一人ひとりが互いに社会の対等な一員として、認めあい、支えあい、ともに夢拓^{ひら}いていくことのできる男女共同参画社会を実現していくことが求められています。

このようなことから、合併による市域の広域化に伴う新たな課題に対応し、本市にふさわしい男女共同参画の施策を総合的かつ計画的に推進するために、「山口市男女共同参画基本計画」を策定いたしました。

今後は、この計画に基づき、男女共同参画施策の一層の推進を図ってまいります。取り組み課題は市政のあらゆる分野にわたっております。また、男女共同参画社会は、行政のみの力で実現できるものではありません。市民、市民団体、事業者の皆様と連携、協力し、一体となって取り組んでいくことが何より重要であると考えておりますので、今後とも、一層の御理解、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、この計画の策定にあたりまして、貴重な御意見や御提言をいただきました山口市男女共同参画推進会議委員の皆様をはじめ、多くの市民の皆様に心からお礼申し上げます。

平成20年3月

山口市長 渡 辺 純 忠

● 前章 男女共同参画社会とは	1
1 男女共同参画社会とは？	1
2 男女共同参画はなぜ必要か？	2
3 男女共同参画社会とはどんな社会か？	4
● 第1章 計画策定の考え方	5
1 計画策定の趣旨	5
2 計画の位置づけ	5
3 計画の期間と計画の見直し	5
4 計画策定の背景	6
(1) 社会経済情勢の変化	6
(2) 世界の動き	8
(3) 国の動き	8
(4) 県の動き	9
(5) 市の動き	10
● 第2章 現状と課題	11
1 人権の侵害	12
2 「男女共同参画」に関する意識	19
3 様々な分野への男女の参画	23
4 就業と職場環境	32
5 推進体制	43
● 第3章 計画の基本的な考え方	47
1 基本理念	47
2 基本目標	47
3 施策の体系	48
● 第4章 計画の内容〔前期行動計画〕	49
基本目標1 男女の人権の尊重	50
1 男女の人権尊重の意識づくり	50
2 男女間における暴力の根絶	51
3 心とからだの健康支援	52

基本目標 2	男女共同参画意識の醸成と浸透	5 5
1	男女共同参画社会の形成に向けての市民意識の醸成	5 5
2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進	5 7
基本目標 3	あらゆる分野への男女共同参画の促進	6 0
1	政策・方針決定の場への女性の参画促進	6 0
2	エンパワーメントとリーダーの育成	6 2
3	家庭・地域における男女共同参画の促進	6 3
4	国際交流・協力を通じた男女共同参画の推進	6 5
基本目標 4	男女がいきいきと働ける環境整備	6 6
1	男女平等な雇用環境の整備	6 6
2	仕事と家庭の両立支援	6 7
3	女性のチャレンジ支援	6 9
基本目標 5	推進体制の整備・充実	7 1
1	推進体制の強化	7 1
2	推進拠点の整備・充実	7 2
第 5 章	計画の推進方策	7 3
1	市民・市民団体・事業所との協働	7 3
2	計画の進行管理	7 3
3	国・県等関係機関との連携	7 3
資 料 編		7 5
1	策定過程	7 5
2	山口市男女共同参画推進会議設置要綱	7 6
3	山口市男女共同参画推進会議委員名簿	7 7
4	山口市男女共同参画推進本部設置要綱	7 8
5	女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約	8 0
6	男女共同参画社会基本法	8 8
7	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律	9 3
8	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律	1 0 3
9	山口県男女共同参画推進条例	1 1 0
1 0	用語解説（五十音順）	1 1 4

Five vertical bars of varying shades of blue are positioned on the left side of the page. The bars are of equal height and width, with the central bar being a darker shade of blue.

前章

男女共同参画社会とは ▶

前章 男女共同参画社会とは

1 男女共同参画とは？

男女共同参画とは、「男性と女性が性別にかかわらず社会の一員として尊重され、ともに認め合い、ともに支え合い、ともに輝いて生きること」です。

男女共同参画社会基本法*では「男女共同参画社会」をこのように定義づけています。

『男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会』

※ 参画とは、単に参加するだけでなく、ものごとの企画立案の段階から主体的に関わり、決め事などにも責任を持って関わることをいいます。

「男女共同参画」は、性差を否定したり、男らしさ、女らしさや男女の区別をなくして人間の中性化をめざしたり、また、家族やひな祭り等の伝統文化を否定するような考え方はありません。

男性と女性という違い（性差）があることは事実です。しかし、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、これにとらわれて、一人ひとりの個性や能力の発揮・選択機会が失われたり制約されたりすることが問題なのです。

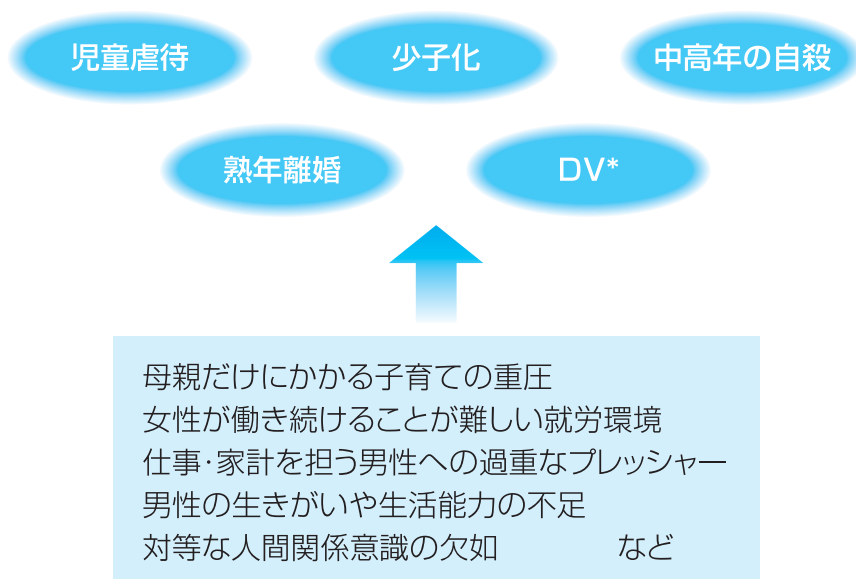
2 男女共同参画はなぜ必要か？

何か変では？（性別による役割分担の例）

- 夫婦二人とも働いているのに、家事や育児は妻の役目である。
- 男性は育児休業や介護休業をとることに抵抗がある。
- 親の介護のために妻が仕事を辞めるのは仕方がない。
- 子どもの学校行事に妻が行くのは当然である。
- PTAの仕事はほとんど女性がするのに、会長には男性になることが多い。
- 喪主は女性ではなく男性になることが多く、女性はもっぱら裏方である。
- 職場で、どんなに忙しくてもお茶を出すのは女性の仕事である。
- 男性はつらいことがあっても、泣かずに自分ひとりで耐えるものだと教えられてきた。
- 男の子が泣くと、「男のくせに泣くな」と言われる。
- 「女の子なんだから料理や裁縫ぐらいできないとおかしい」と言われる。
- 女性は結婚したら夫の姓を名乗るのが当たり前である。

様々な社会問題の背景には・・・

一見「男女共同参画」とは直接関係がないかのように見える様々な社会問題には、実は「固定的性別役割分担意識*」が大きく関わっているのではないのでしょうか。



用語解説 *固定的性別役割分担意識 P115、*ドメスティック・バイオレンス(DV) P117

男女共同参画社会づくりはなぜ必要なのでしょうか

● 根強い男性社会の解消

法律・制度上では男女平等がほぼ達成されつつあります。しかし、現実には、女性の政策・方針決定過程への参画や能力発揮のできる職場環境の整備は十分ではなく、家庭における家事、育児、介護などの負担や地域における慣習など女性にとっては不利な面が多く見られます。

また、男性優位の意識がドメスティック・バイオレンス*やセクシュアル・ハラスメント*など女性への人権侵害を生み出すことや、男性への過剰な期待が中高年男性の自殺の多発に繋がっているという指摘もあります。

「男はこうあるべき、女はこうあるべき」といった固定的な考え方に基づく制度や慣行を解消し、一人ひとりの人権が尊重され、いきいきと暮らせる社会をつくる必要があります。

● 社会経済情勢の変化への対応

少子高齢化や家族形態の変化、また国内経済の低迷と雇用環境の悪化等、わが国の社会経済情勢は急激に変化しており、これらに対応するため、女性の様々な分野への進出や男性の家庭や地域への参画が求められています。男女が性別にかかわらず、自分の持てる力を十分に発揮でき、あらゆる分野に対等な立場で参画し、ともに責任を担う社会をつくる必要があります。

3 男女共同参画社会とはどんな社会か？

市民のだれもが、性別による固定観念にとらわれることなく、社会の対等な構成員として『自分らしく』生きることができる社会です。男女共同参画社会が実現することによって、自分らしく生きていくための選択肢が広がります。

男女共同参画を生活の各場面に当てはめると次のようになります。

家庭では

- 「男は仕事、女は家庭」という固定観念にとらわれず、家族が協力して、家事、子育て、介護などを行っています。
- 家族全員が喜びも責任も分かち合い、明るく楽しい家庭生活を送っています。
- 誰もが自立し、自分らしく心豊かな暮らしをしています。

職場では

- 男女の均等な機会と待遇が確保されています。
- 男女がともにその個性と能力を十分に発揮し、いきいきと活躍しています。
- 男女ともに、家庭生活や地域活動との両立が可能な、バランスのとれた働き方のできる環境が整っています。

学校では

- 性別にとらわれず、一人ひとりの個性や能力を伸ばしています。
- 子どもたちがお互いに尊重しあい、自立することの大切さを学んでいます。
- 進学や就職において、個人の意思や能力を尊重した進路選択がなされています。

地域では

- 男女がともに地域活動やボランティア活動に積極的に参加し、住みよい地域づくりに貢献しています。
- 固定的性別役割分担意識*に基づく古い慣習やしきたりがなくなり、一人ひとりが個人として尊重されています。